

## 陰嚢内血管腫の1例

大垣市民病院泌尿器科 (部長: 磯貝和俊)  
米田 尚生, 堀江 正宣, 磯貝 和俊

## A CASE REPORT OF THE SCROTAL HEMANGIOMA

Hisao KOMEDA, Masanobu HORIE and Kazutoshi ISOGAI

From the Department of Urology, Ogaki Municipal Hospital

A 21-year-old man with painless tumor in the right scrotum was seen at our Department. The tumor was resected surgically and histological examination revealed venous hemangioma. This case is 26th case of scrotal hemangioma in Japan.

(Acta Urol. Jpn. 35: 911-912, 1989)

**Key words:** Hemangioma, Scrotum

## 緒 言

陰嚢内血管腫は比較的稀な良性腫瘍である。われわれは陰嚢皮下より発生した血管腫を経験したので報告する。

## 症 例

患者: 21歳, 男性

主訴: 右陰嚢内腫瘍

既往歴・家族歴: 特記すべきことなし

現病歴: 1982年頃より右陰嚢内に腫瘍があるのに気づくも, 痛みなどの症状がみられないので放置していた。腫瘍の増大に気づき, 1987年7月23日, 当科を受診した。

現症: 体格は中等度, 胸腹部に異常所見認めず, 表在リンパ節は触知しない。

右陰嚢内に睪丸および精索とは別に, 表面結節状, 弾性硬の拇指頭大の静脈瘤様腫瘍を触知した。透光性および圧痛は認めなかったが, 腫瘍は陰嚢から肛門側へ皮下での増殖がみられた (Fig. 1)。

尿検査および血液生化学検査には異常を認めなかった。

以上より右精索静脈腫と考えたが, 陰嚢内腫瘍も否定できず, 9月8日, 腰麻下で手術を施行した。

手術所見: 右鼠径部から陰嚢にかけて5cmの斜切開を加えた。腫瘍は暗赤色結節状で静脈腫とは異なり, 血管腫と考えられた。睪丸, 精索とは容易に剝離されたが (Fig. 2), 皮下組織へは浸潤性に増殖しており剝離は困難であったので, 鋭的に腫瘍を切除した。

摘出腫瘍は小鶏卵大, 30gであった。

病理組織学的所見: 中等度の血管が不規則に増生し, 血管壁はirregularに肥厚しておりvenous hemangiomaと考えられた。血管内にはthrombusが多数見られた。一部は器質化しrecanalizationを示す部分も見られるが, 悪性像は認められない (Fig. 3)。

術後11日目に軽快退院した。退院後8カ月の現在再発はみられていない。

## 考 察

陰嚢内血管腫は陰嚢内容とは別に, 陰嚢皮下組織より発する稀な疾患である。欧米ではRobert<sup>1)</sup>が第1例を報告しており, 本邦では岩崎<sup>2)</sup>の報告以来, 仲田<sup>3)</sup>が15例を集計し, その後の報告例を集めると自験例が26例目である (Table 1)。

本症は先天性の疾患であり, 本邦報告例の発症年齢は2歳から56歳までで平均17.4歳である。本例は腫瘍の存在には数年前より気づいており, 実際には年少時より存在するものと思われる。発症部位は右側10例, 左側15例, 不明1例であった。大きさは数gから最大280gまでとさまざまであるが, 組織学的には他部位の血管腫との違いはみられない。臨床症状は陰嚢内腫瘍, 陰嚢腫脹が多くみられるが, 軽度の疼痛を伴う場合もみられる。これは腫瘍による周囲組織圧排によるためと思われる。中には陰嚢内から陰茎まで腫瘍が延び性交困難を呈した例<sup>4)</sup>, 睪丸温上昇による無精子症のみられたもの<sup>5)</sup>, また弱い外力で血腫をつくり, これを主訴とする場合<sup>6)</sup>も見られた。

Table 1. 本邦報告例

症例	報告者	報告年	年齢	患側	重量	組織型
16	阿部	1981	37歳	左	?	cavernous hemangioma
17	漆久	1982	6歳	?	?	?
18	伊藤	1983	19歳	右	43.7 g	hemo-lymphangioma
19	佐藤	1983	8歳	左	?	cavernous hemangioma
20	柴山	1983	32歳	右	20 g	cavernous hemangioma
21	佐藤	1983	4歳	左	?	cavernous hemangioma
22	泉	1984	34歳	右	165 g	cavernous hemangioma
23	妹尾	1985	13歳	右	?	cavernous hemangioma
24	金山	1985	9歳	右	φ 1cm	cavernous & venous hemangioma
25	妹尾	1986	5歳	左	?	cavernous hemangioma
26	自験例		21歳	右	30 g	venous hemangioma



Fig. 1. 陰嚢皮下に結節状の腫瘤を認める

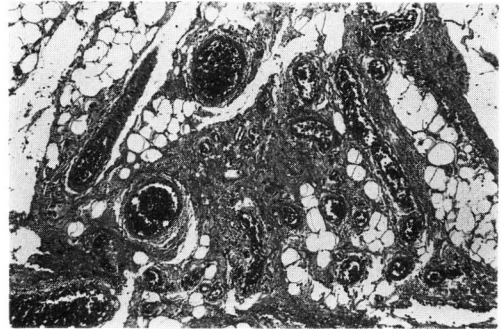


Fig. 3. 病理組織像



Fig. 2. 腫瘤は精索、睪丸とは容易に剥離されるが、陰嚢皮下へは浸潤性に増殖

治療は腫瘤摘出が一般的であるが<sup>7)</sup>、皮膚との剥離困難な症例では皮膚をも含めて切除すべき<sup>8)</sup>との報告もある。

予後は良好で、悪性化したとの報告はみられない。

## 結 語

陰嚢内血管腫を経験し、本邦症例26例を集計し、文献的考察を加えた。

## 文 献

- 1) Robert, in Boullay: Bull Soc Anat de Paris 26: 194, 1851
- 2) 岩崎孝史: 陰嚢血腫を起こした陰嚢内血管腫の1例. 臨床皮泌 12: 31-33, 1958
- 3) 仲田浄治郎, 大石幸彦, 小野寺昭一, 池本 庸, 朝山 功, 清田 浩, 町田豊平: 小児にみられた陰嚢内血管腫の1例. 臨泌 35: 1109-1111, 1981
- 4) 泉 武寛, 大前浩志, 原 信二, 守殿貞夫: 陰嚢内および陰茎の血管腫, リンパ管腫混合型の1例. 泌尿紀要 31: 159-164, 1985
- 5) 日江井鉄彦, 杉山寿一, 加藤範夫, 三矢英輔: 陰嚢内血管腫の1例. 泌尿紀要 27: 111-114, 1981
- 6) 金山博臣, 比嘉 功, 宇山 健: 陰嚢内血管腫の1例. 臨泌 39: 707-709, 1985
- 7) Estridge RR, Carrion HM and Politano VA: Hemangioma of scrotum, perineum and buttocks. Urology 14: 61-63, 1979
- 8) Mulcahy JJ, Schileru G, Donmezer MA and Bhatena D: Lymphangioma of scrotum. Urology 14: 64-65, 1979

(1988年5月31日受付)